

臨江閣 別館

臨江閣本館は、県令楫取素彦の提言により、初代前橋市長下村善太郎を始めとする地元有志や企業の寄付により、明治 17 年に建設された迎賓館です。別館は明治 43 年前橋市で開催された共進会のために建設された書院風建築の貴賓館です。茶室も含めて、近代和風の木造建築として国指定の重要文化財となっています。

記念対局 対局者・指導者紹介

下村洋之助氏は、初代市長下村善太郎氏の曾孫でいらっしゃいます。医師として群馬大学内分泌内科医局長、群馬県立医療短期大学教授、群馬県立県民健康科学大学教授などを歴任され、同大学の名誉教授でもあられます。最近「初代前橋市長 下村善太郎一下村家のルーツを探る旅一」（上毛新聞社刊）を出版されました。

指導者の木部夏生三段は群馬県太田市のご出身で、平成 24 年に入段し、今年度女流立葵杯で準決勝に進出するなど、各棋戦で活躍中です。また YouTube の動画「べっきーの電波塔」では、わかりやすくまた面白く対局解説をされています。

臨江閣 地図（お車は西の前橋公園駐車場をお願いします）

